

注目の研究内容発表

熟成ニンニク抽出液の

腸神経細胞に対する影響

内容 「マウスに対する実験において、
熟成ニンニクによって腸神経細胞が
改善される事が分かった」

堀田 亮
(ハーバード大学)

高橋考察：熟成ニンニクの使用で便秘が改善
されるケースに良く遭遇するが、その理由の解明につながる

コラム：国際的に研究対象になっているニンニク。特に2年間熟成させた熟成ニンニク抽出液に含まれている2つのアミノ酸（SAC・SIPC）は、優れた血流改善効果や体温上昇効果、動脈硬化や癌の原因になる体内の「慢性炎症」を抑える働きが知られており、世界中の多くの科学者たちを魅了しています。

もっと詳しく



▲読賣新聞

記事広告掲載



野菜などの植物はしばしば医療に役立つ作用を持ち、科学者の研究対象にされる場合がありますが、知らないうちに研究が下火になる事は良くある話です。しかし熟成ニンニクは、長期間にわたり研究が行われ続け、いまだに世界中の多くの科学者たちが「その働きと仕組み」を追い求めている事を踏まえれば、如何に大きなパワーと魅力を秘めているかが分かりますね。

